

2025年 新年のご挨拶

一般社団法人滋賀県トラック協会
会長 松田 直樹

2024年は、元旦に能登半島を中心とした大地震が発生し、甚大な被害が出るという大変な年の始まりとなりました。円安によるインバウンドの拡大により一部観光業界等に景気回復がみられるところではありますが、国内では異常気象、食料不足、物価高騰、その他世界情勢では未だ終わりの見えないロシアによるウクライナ侵攻など、経済を停滞させる要因が続いています。日本国内では、第50回衆議院選挙が2024年10月に実施されました。与党が過半数を割り込むという結果となり、民主党政権が誕生した15年前の2009年以来のこととなりました。

そのような中、我々運送業界では、国民生活を支えるエッセンシャルワーカーとして、社会との共生を図るため積極的に事故防止対策や環境対策、ドライバーの社会的評価の向上に取り組むとともに、我が国の経済活動にも貢献しているところであります。

具体的には、全日本トラック協会に対し、大型車車輪脱落事故防止ワーキンググループ活動、ドライバーの安全と健康を守り、カスタマーハラスメントによる精神的被害を防ぐ等を目的とした委員会活動を滋賀県トラック協会が中心となり提案し、実施しております。その他、緊急物資輸送等ライフラインとしての役割を含め業界の一助となるよう日夜全力で取り組んでおります。

一方、「2024年問題」として時間外労働の上限規制、改善基準告示の改正等が、昨年4月から施行されました。実質的労働時間減少による、労働力不足が顕著となり、各事業者も対応に追われているのが実情です。併せて、燃料価格の高止まりが続き、運送業界を取り巻く環境は非常に厳しいものとなっております。これらに対応するため、標準的運賃収受、また労働環境改善対策について荷主各位の理解を求めするため、労働局、国土交通省の協力のもとセミナー、研修会等を開催して参りました。

会員サービスの充実として滋賀県独自の求人サイトロジクルートの推進、各種助成金や荷主対策等として適正化調査員とトラック・物流Gメンによる協力体制を強化し、匿名性を担保するローラー作戦にも取り組んでいきます。

その他、業界のイメージダウンにつながっている飲酒運転撲滅、黄金のペッ

トボトルを含むごみのポイ捨て禁止の啓発等、我々業界も自ら襟を正していくための事業にも力を入れていきたいと考えております。

我々業界も引き続き創意工夫をすることによって、ドライバーの社会的評価の向上延いては我々運送業界全体の社会的評価の向上を目指したいと思いません。

つきましては、滋賀県トラック協会として、会員の皆様にご協力をいただき、ライフラインとしての活動はもとより、業界全体が一丸となって事業運営に取り組んでいかなければなりません。

上記内容を達成するため以下の重点施策の実現に向け、業界発展のため努力して参りますので、会員の皆様には益々のご理解とご協力を賜りますようよろしくお願い申し上げます、2025年の新年のご挨拶と致します。